

『鰯のアタマ』

作 阿野一人

登場人物

錦戸貫太 白内町始まって以来の秀才。

錦戸サツキ 貫太の姉。町役場職員。

手越裕子 サツキの同僚。白内盛り上げ隊隊長

山下大和 サツキの婚約者。農家。

※文中に「／」がある場合は、次のセリフで遮る。

「／」以降、任意のタイミングで遮ってよいが、セリフ終わりまで遮らないのはNG

白内町役場小会議室。

扮装をした山下がサツキの前でしょげている

サツキ なんか違うんだよな……

裕子（声）わかりました。はい。失礼しまーす

山下、慌てて隠れる。サツキも面接の準備をしているフリをする。

裕子が入ってくる

裕子 町長これなくなっただけです。

サツキ そうかー、まあ仕方ないんじゃない？ あ、履歴書って紙でいる？

裕子 要らないです。コレ（タブレット）で。っていうか面接自体いらなくらいなんで

サツキ え、まずいでしょそれは

裕子 だってあの錦戸貫太くんですよ！？

サツキ あの、って

裕子 白内町の奇跡、町始まって以来の秀才ですよ！？ それが町に戻ってきてくれるんですから、契約しないわけじゃないですか

サツキ でも、あいつ、あの、勉強はできたけど

裕子 できたなんでもんじゃないですよ。早慶大学ですよ！？ 白内町出身、戦後初の早慶大
学！

サツキ あー、ほら、それと仕事ができるかどうかは

裕子 できますよ！ できるに決まってるじゃないですか！

サツキ いやー結構抜けてると言うかアホなんでホント／期待外れなんてことにもなりかねないし

裕子 サツキさん。

サツキ なに

裕子 そりゃサツキさんからみたら、いつまでもドジな弟かもしれないですけど、貫太くんはこ

のこの町の希望なんですよ！ 神様が、過疎の我が町に遣わした、救世主なんですよ。

サツキ 救世主……？

裕子 ていうか、破綻自治体の移住者募集なんて、もうぶっちゃけ応募がありや誰でもいいみたいな話なのに。それが、地元出身、20代、早慶卒、ソフ天バンクでビジネスを学んだ貫太くんなんて……！

サツキ ?? 裕子ちゃん？

裕子 信じてた……！！

サツキ !?

裕子 じゃあ、すいませんちょっと抜けます。すぐ戻って来ますんで

サツキ あーいいよ。やっとかやっとか。まだ1時間近くあるし。

裕子 え、ほんとはですか。助かります！

裕子、出ていく。山下が倉庫から出てこようとする。

裕子が急に戻ってくる。山下、慌てて隠れる

裕子 そういえば農業体験ツアーの件、どうですか？

サツキ あー、やっぱ無理っぽい。素人に牛さわらせたくないって

裕子 えー！？ ちゃんと言ってくれましたー？ 町の未来のためなんですよ？

サツキ 言ったよ！

裕子 うー。牧場がないと(コンテンツとして)弱いよなー。どうしようかなー

裕子、今度こそ出ていく。山下が倉庫から出てくる。変な扮装をしている。

山下 あぶなかった……

サツキ やっぱり、このままだと貫太は帰って来ちゃうね。面接の前にケリつけないと

山下 ね、ホントにやるの？

サツキ なに言ってるのよ。やるから

山下 他に方法ないのかな？

サツキ これが一番、確かだから！

山下 そうかなあ？

サツキ あんた、変な宗教にハマってる実家に住みたい？

山下 そりゃ、絶対住みたくないけど……

サツキ でしょ。だから、私に変な宗教にハマっていると信じさせたら、私たちの勝ちだから

山下 貫太くん、かわいそうじゃない？

サツキ こんな町に帰ってくる方がかわいそうよ！

山下 でも本人が帰ってきたいんでしょ？

サツキ バカなのよバカ

山下 いやいやいや早慶大学の／貫太くんですよ？

サツキ 賢いって思ってるバカが一番やつかいなの！

山下 えー？

サツキ 炭鉱閉鎖、財政破綻、温泉もない、スキー場もない、特産品もない、こんな町に帰ってくる人間が賢いと思う！？

山下 きつとなにか考えが／あるかもしれない

サツキ 絶対ない！ あつてもうまくいかない！

山下 そうかなあ

サツキ たとえ上手くいったとしても知れてるつて。マイナス100がマイナス50になるくらいで

山下 じゃあほら、残りの50は俺たちが頑張ればさ、／いけるんじゃない？

サツキ じゃあ農業体験やりなさいよ

山下 え？

サツキ 貫太が帰って来る前に、マイナス50にしてみなさいよ。そしたら私も反対しないから

山下 いや、それは、だつてさ

サツキ 偉そうなこと言うなら、めんどくさがつてないで自分が何かやりなさいよ。あんたこの子（自分のお腹を指す）の父親になるんだよ？（お腹に）ねー、ダメなパパでちゅねー

山下 だ、だつてうちだつてそんな余裕あるわけじゃないしそんな／やったことないことやるなんて変なトラブルに巻き込まれたら困るし

サツキ ウソだよ

山下 え？

サツキ 私は、あんたのそーゆーところが気に入ってるの。まずは自分が損しない事を考える、みみちい根性が

山下 み、みみちい？

サツキ そうじゃなきゃあんたと結婚なんてしないから。この町でこの子を育てるなら、絶対に自分だけは逃げ切るつて覚悟がないと。

山下 ……褒めてる？

サツキ 褒めてるよ？

山下 そうか……

サツキ よし。じゃ、スタンバイして。

山下 ……（倉庫に隠れる）

問

サツキ ……私だつてさ、別にいじわるしたいわけじゃないんだからね？

山下 ん？

サツキ 貫太には、未来があるところで頑張つて欲しいの。こんなド田舎で爺さん婆さんのために 駆け回るんじゃないくてさ。もっと最先端で、夢があるような……あいつの才能に相応しい世界で。

山下 でもさ、鯛のシッポより鯛のアタマっていうじゃん
サツキ 鯛のアタマになるために東京行ったんでしようが
山下 おお、そうか。秀才にはその発想があるのか。
サツキ 貫太の幸せは、我々にかかっているんだからね
山下 え？
サツキ 二人で絶対に、貫太のUターンを阻止しようね！
山下 お、おう
サツキ 二度と実家に帰りたいなんて思わせねえぞ
山下 ……
サツキ ……やっぱそこ（倉庫）じゃないな。
山下 えっ！？
サツキ 廊下にしよう。廊下から入って来よう
山下 （出てきて）え！？ このカッコで？
サツキ だってなんか違うじゃんそこ（倉庫）は
山下 でも廊下はまずいでしょこれで
サツキ 隠れてれば大丈夫だって
山下 どこに！？
サツキ いいから早く！ もう来ちゃうから！

ノックの音

貫太（声）失礼します

普段着の貫太、入ってくる。山下、隠れるのが間に合わない

貫太 あ、姉ちゃん……（山下に気づいている）
サツキ ……おかえり
山下 ……（しれっと隠れる）
貫太 （山下が隠れたところを気にして）あれ、今のって／何？
サツキ 今の？
貫太 今の、なんか変な／人
サツキ ……誰かいた？
貫太 えっ！？
サツキ 私ひとりだけど
貫太 ええ！？
サツキ それより！ なんなのよアンタ！
貫太 え、あ、ごめんごめんごめん
サツキ 帰ってくるなら、役場の前に家族に相談でしょ！？

貫太 いや、そうなんだけど、絶対反対するじゃん
サツキ しないよ！

貫太 したじゃん！ ラインでもめっちゃ怒ってたし
サツキ 考え直したの！ っていうか、導かれたというか。

貫太 導かれた？

サツキ そう。今ね、そう、すごい先生にお世話になってて

貫太 あ、ちょっと待ってちょっと待って。ほら、今から面接だから

サツキ ああ、大丈夫。あと一時間あるから

貫太 いやいや、5時からになったんでしょ？ さっきLINEで／言ってたじゃん

サツキ あ、あれ、嘘

貫太 ウソ！？

サツキ どうしても話したいことがあって

貫太 はあ？

サツキ だから裕子……ってあの、面接の人あと一時間は来ないから

貫太 だったら着替えてこれたじゃん……

サツキ いいから！ 大事な話だから！

貫太 なに！

サツキ あんたはね……特別な人間なんだって

貫太 はあ。それで？

サツキ だけどあんたは、前世の罪を背負ってるから、何やっても絶対失敗するんだって

貫太 え？ なに？

サツキ しかしあなたは帰ってきた！ 運命に導かれて！

貫太 待って待って／なんの話？

サツキ あなたはここでケガレを払い、救われるのだ！ ちょっとそこに立ってて

貫太 え、面白いよ？

サツキ 真剣なのよこっちは！

貫太 ええっ！？

サツキ せんせー！ お願いします！（山下を呼ぶ）

巖かに山下が現れる。

貫太 あ、さっきの

サツキ 先生、こちらが弟の／貫太です

山下 みなまで言うな。私にはすべてわかる。

サツキ ははー！

山下 錦戸貫太。「町おこしがしたい」というのは嘘だな（当てずっぽう）？

貫太 （凶星を突かれて）えっ？

山下 隠しても無駄だ。東京で何があった？

貫太 なんなんですかいきなり！

山下 あるはずだ。本当の理由。自分でも／気づいてないかもしれない理由が。

貫太 ……あなたに何がわかるんですか！

サツキ ばか！ 先生はなんでもわかるのよ！

貫太 姉ちゃん！

サツキ 先生、ほら、ね。お分かりですよ。

山下 ん？ あ、そうそう。見えるぞ。お前は……新幹線とバスを乗り継いでここに来た。

サツキ さすが！ その通りです。すごい

貫太 そらそうでしょ

山下 えーと、2000年生まれ、2022年に早慶大学経済学部を卒業、株式会社ソフ天バンク営業部に配属。2024年に一身上の都合で退社。

貫太 え、なに？ 面接？

山下 特技は動画編集、普通免許を持ってて、TOIECスコアは800点だな？

貫太 (サツキに) 履歴書みせたべや！

サツキ わかるのよ！ 先生は！

貫太 姉ちゃん！

サツキ なに！

貫太 ふざけるなら、あとにしてくれないかな。面接あるんだから。

サツキ だからね、面接の前にお祓いを／済ませておかないと

貫太 姉ちゃん！

サツキ ……

貫太 着替えてくる。

貫太、去る。荷物を置き忘れていく。

山下 ……これで、あつてんの？

サツキ うーん……まあ、多少は帰って来たくなくなってるとは思うんだよね

山下 それは、ただサツキちゃんが嫌われただけのような

サツキ 最悪、それでもいいよ。貫太が東京で頑張るなら！

山下 いいのかなあ？

サツキ よし。追い打ちをかけよう

山下 え

サツキ これ(荷物)届けよう。そこで、私がガチの信者ぶりを見せつけるわ

山下 ええ！？

サツキ ウチもね、ちゃんと仏壇とかやばい感じにしてあるから

山下 えっ！ 遺影とかどうしたの？

サツキ やばい感じにしてある！

山下 最悪！ お義母さん草葉の陰で泣いてるよ

サツキ 泣いてない！

山下 えー？

サツキ パパもママも、生きてたら絶対、帰ってくるなっていうから。

山下 そうなの……？

サツキ とにかく、家に着いた貫太がビビってるところに、私たちが乗り込んでやばい儀式を執り行う

山下 はあ

サツキ よし。じゃあ、なんかやってみて

山下 なんかって!？

サツキ ヤバい儀式！

山下 え、えーと……はらいたまえー きよめたまえー

サツキ それ神社じゃん。普通じゃん。

山下 えー？

サツキ なんかもっと呪文っぽいやつ！ 謎言語の！

山下 な、謎言語!？

山下、謎言語の呪文を唱えながらリズムカルに動く

サツキ お、いいじゃん！ そうそう！

山下、気分が乗ってくる

サツキ おお！ その感じその感じ！

山下 お、これか！ さあ！ 祈るのです！

サツキ いいね！

サツキ、一心不乱に祈る。山下、その周りを動く

サツキ 貫太が幸せになりますように、貫太が幸せになりますように

裕子が部屋に入りかけて、驚いて固まっている

サツキと山下は気づかずに儀式の練習をつづけている

山下、裕子に気づく。少し遅れてサツキも気づく

山下、倉庫に駆け込む。裕子、山下を追う

裕子 不審者!!

サツキ あー! 違うから!

モノが倒れる音。ガラスが割れる音。裕子が現れる。山下の扮装を持っている

裕子 逃げられた……

サツキ 裕子ちゃん、あれはあの

裕子 あーっと。えーとね、アレですよね。

サツキ え？

裕子 信教の自由というものがありませんので、あの、だから、サツキさんがそういうアレでも、何がどうかいうことはありません。

サツキ あー、だから、違くてね。

裕子 いいんですいいんです。多様性、そう！ 多様性だから！

サツキ そうじゃなくて！ あれは、その、変な宗教とかではなくて

裕子 あーあーあー、大丈夫です。変だとは思ってないので

サツキ 変だと思わないの！？

裕子 というか、変だとかなんだとか、私がジャッジすることではないので

サツキ あー、いや、そうじゃなくて！ 誤解！

裕子 ……誤解？

サツキ なんかその……あー、ゆるキャラかと思って！ そう！ 新しいゆるキャラ

裕子 ゆるキャラ？ いまさら？

サツキ そう！ なんか、開運！ 的な。パワースポットで町おこし！ 的な！ そういう。

裕子 あ、不審者だったんだー！

裕子 あー、あー、そうですか。そういう勘違いですか

貫太が入り口で逡巡している

裕子 あら？（貫太に気づく）

貫太 あ、すいません。あの、荷物を／忘れちゃって

裕子 あ！ 貫太さん！？

貫太 あ、はい。

裕子 わー！……立派になってるー！！！！

貫太 はあ

裕子 あああごめんなさい。白内町企画課、白内盛り上げ隊隊長の手越裕子と申します。

貫太 あ、錦戸貫太と申します

裕子 知ってます知ってます！ よーく知ってます！ 有名人ですから貫太さんは！

貫太 はあ（神童扱いは慣れている）

裕子 あ、そうだ。もし大丈夫なら、あの、面接やっちゃいます？ 早いけど

サツキ え！？ ダメでしょ！

裕子 いいんですいいんです（貫太に宗教のことを聞きたい）

貫太 え。あ、でもすいません服とかあれなんで

サツキ そうよ、こんな服で面接なんて非常識よ恥ずかしい

貫太 姉ちゃんのせいじゃんか

裕子 全然大丈夫なんで！ ぜひ！

貫太 え、じゃあ。まあ、いいですけど。

サツキ ダメだって！

裕子 いいんです！ じゃあ、そちら（椅子）どうぞ。そしたらサツキさん、また後で（サツキを追い出す）

サツキ ダメ！ 時間は守らないと

裕子 そんなことより！ 不審者の件、警備に報告してください！ 逃げられちゃう！

サツキ、裕子に押し切られ出ていく

裕子 ……（サツキが離れる気配を確認する）

貫太 ？

裕子 あの、ちょっと、面接とは別の話になるんですけど……これ（山下の扮装）、知ってます？

貫太 ああ、これ。

裕子 あー！、ああ。そう。知ってるんですね。じゃあ。まあ。

貫太 え、何がですか

裕子 いえいえいえいいんです多様性ですから

貫太 いや気になるじゃないですか

裕子 あ、いや。ですから、貫太さんのところでは、昔からこれで法事とか／やってたんでしょ

貫太 昔から？

裕子 ちがうの？

貫太 いえ、さつき姉が／ふざけて使ってた衣装ですよ。

裕子 えー！、じゃあ、最近だ！？

貫太 最近？ まあ、最近。というか／さつきですけど

裕子 じゃあ、貫太さんもびっくりですか？

貫太 はい。びっくりというか腹が立ったというか

裕子 そうですよ。ご家族は困っちゃいますよねー

貫太 なんてああいうことするんでしょうね。せっかく帰ってきたのに。

裕子 いやー、まあ一度信じてしまおうとねー

貫太 え、すみません。姉はアレを本気で信じてるんですか？

裕子 え？

貫太 いや、僕にはふざけてるようにしかみえなくて

裕子 あれは……本気の祈りに見えましたけど

貫太 そう、ですか……

山下 失礼します。山下牧場の山下です
裕子 山下さん！？ はいどうぞ！

山下 (入ってきて) あ！ 貫太くん！

貫太 あー！ お久しぶりです！ 姉がお世話になってます！

山下 いえいえいえこちらこそ。あ、あのさっきはごめんね？

貫太 さっき？

山下 あ、いやなんでもない。

裕子 あ、もしかして、農業体験の件ですか？

山下 あ、すいませんそうじゃなくて。サツキちゃんいないですか

裕子 あー、さっきまでいたんですけど

山下 そうですか、じゃあ失礼しました

貫太 あ！ そうだお義兄さん！

山下 えー！ お義兄さんはまだ／早いよ

貫太 姉の宗教について何か知らないですか？

山下 シュシュシュ宗教！？

貫太 さつき姉の様子がおかしくて。なんか(裕子に)聞いたら、変な宗教にハマってるって

裕子 何か、ご存知ないですか？

山下、本当のことを言うべきか迷う

裕子 あ、あの、変な……じゃなくて、えーと、少数派の宗教を信じていたとしても、役場としては特に何もありませんから。サツキさんの不利益になるようなことには(ならないです)。

山下 ……ハマってます。変な宗教。

裕子 やっぱり！(同時に)

貫太 マジか…(同時に)

山下 そう。だからね、貫太くん。帰ってくるのは、今じゃない方がいいかもしれない

裕子 なんてこと言うんですか！

山下 だってあれよ！？ 同居するご家族がヤバイ宗教やってたら、毎日つらいよ！？

山下のケータイが鳴る

山下 (ケータイを見て) あ。ほら、噂をすれば(出る)もしもし？

(以下、山下の電話と、貫太裕子の会話は同時進行)

山下 (電話) 今？ 会議室。

貫太 危険な宗教なんですかね？

裕子 え、そうなんですかね

貫太 でもいま、「ヤバイ宗教」って言いましたよね

裕子 たしかに！！

山下 (電話) 面接？ いや、ぜんぜん普通に雑談してる。

貫太 他にいないんですか？ その、町で広めてる人とか

裕子 いや……全然わかんないです

山下 (電話) それよ。聞いてよ。完全に信じてもらえた

貫太 でも、誰かいるはずですよ

裕子 いまどきはネットって線もありますよ

山下 (電話) ホントだって。完璧。

貫太 ネットか……

裕子 そうだ、他に相談とか来てないか、見てきますね

裕子、出ていく

山下 あ、うん。わかった(電話を切る)

貫太 お義兄さん

山下 だからお義兄さんはまだ早いって(嬉しい)

貫太 お義兄さんはどうお考えなんですか？ 姉の宗教。

山下 うーん、まあ、様子見るしかないかなー

貫太 でも、ヤバイ宗教なんですよ？

山下 そうだね……一緒に住んでたりしたら、洗脳されるかもしれないね

貫太 お義兄さんはどうするんですか？

山下 なにが？

貫太 姉との結婚です。結婚したら、その、一緒に住んだりとか、ご家族とかもほら

山下 それは……なんにも考えてなかったわ

貫太 ええっ！

山下 あー！ 僕は大丈夫！ ほら、結婚しても、あの、血がつながってないから。

貫太 ち？

山下 そう。そう。血のつながりが大事なんだって！ だから血のつながりがある人は、洗脳す

るって言った！

貫太 言ってたんですか！？

山下 いやいや言っていない！ ウワサ！

貫太 ……姉は、大丈夫なんでしょう？

山下 ……大丈夫。僕がちゃんとなんとかするから、貫太くんはもうしばらく、東京にしよう。

ね。

貫太 ……

サツキが入ってくる。

サツキ あ、面接終わった？

貫太 姉ちゃん……

サツキ そしたら、また時間つくってお祓いやらなきゃね

貫太 ……(山下に助けを求める)

サツキ いつから仕事？ (山下に「よくやった」のサインを送りながら) あーでも早い方がいいから、今夜やろう。先生にご連絡しとくね。

山下 サツキちゃん、あのね

サツキ ん？

山下 貫太くんね、やっぱり帰ってくるのやめるって

サツキ ええー！ どうして!?

山下 そりゃ、あれだよ。そう！ 条件で折り合いがつかなくて。ね。

サツキ ダメよ！ さっきも言ったでしょ！ 貫太はここでケガレを払わないと

山下 サツキちゃん！ もういいから、大丈夫だから。ね。

サツキ 大丈夫じゃないんだって！ 運命のお導きに逆らっちゃダメなのよ

山下 でも、決心は固いみたいだから。もう決めたんだもんね。しばらくは東京で働くって

サツキ ええー貫太かえってこないのかー。真実に目覚める、いい機会だったのになー

サツキ、山下によくやったを伝える。山下、貫太を心配しつつ一件落着で安心する。

裕子が入ってくる

裕子 そこまでですサツキさん！

サツキ あー！ 裕子！ ごめんね、貫太ちょっと気が変わったみたいで／帰ってこないって

裕子 下手な芝居はやめてください！

サツキ 芝居!?

裕子 全部サツキさんが仕組んだんでしょ!?

サツキ し、仕組んだって。あ、さっきのアレはホント誤解だから！ 後でちゃんと説明／する

裕子 問答無用！ (扮装をつきつけて) 警備の加藤さんが教えてくれました！

サツキ な、なにを？

裕子 この宗教の正体です

サツキ 正体？

裕子 この仮面は30年前、この白内で大問題になった、坂道教団のものですね!?

山下 そうなの!?

サツキ 坂道って？

山下 なんかサカミチズムとかいって、なんかミイラを生きてるって言い張って／変な教祖が逮捕されたやつ

裕子 そうです。自然の力でガンが治ると標榜し、病院から患者を連れ去って死亡させたんです。未必的故意による殺人罪が適用された、立派な反社会的宗教です！

山下 そうそうそう懐かしい！ あー、病院あった頃だ。

裕子 サツキさんがハマってる宗教、それはサカミチズムだったんです！ 現代社会を否定する教団にとって、町を発展させる貫太さんは邪魔なんです！ だから追い返そうとした！
ちがいますか!?

サツキ ちょ、ちょっとまって！（山下に）なんでこうなってんの!?

山下 ええ？ 俺はただサツキちゃんが／宗教にハマってるよって

裕子 山下さんも、つらい立場だったとお察しします。サツキさんがヤバイ宗教にハマってしま
うなんて

山下 いや、こんなやばいことになるとは……

裕子 普通の新興宗教であれば、役場が問題にすることはないんです、ですが！ 反社会的な宗
教だったら話は別です！

サツキ 反社って！ 誤解だから！ そんな宗教しらないから！

裕子 いまさら遅いですよ！

サツキ ホントだって！

裕子 じゃあこの仮面、踏めますか!? 坂道教団の神聖なシャーマンの仮面を！

サツキ、仮面を奪ってバンバン踏む

裕子 ……え？

サツキ だから、話聞いてって言ってるのに

貫太 やっぱりふざけて儀式やってたんだ

サツキ あー！ ふざけてないふざけてない！ 本気の儀式

裕子 じゃあ反社の信者じゃないですか

サツキ それも違うって！

貫太 姉ちゃん！

サツキ だから、ヤバイ宗教には入ってるけど、そこまでヤバくない！

裕子 ……?

サツキ これ（仮面）も……そのそっちのあれ（坂道教団）では大事なのかもだけど、うちでは
そうでもない！

貫太 なに言ってるんだよ……

サツキ だから貫太も、全然帰ってきて大歓迎だけど、お被いと……あと4時起きね。毎日四時起
きだから。朝日を拝むから。

貫太 はあ？

サツキ 4時起き。眠いよー！ じゃなくて清々しいよー！

貫太 姉ちゃん！

サツキ あとカレーも禁止だから。刺激物は禁止。パクチーのみOK

貫太 姉ちゃんちよつといい加減に／してくれ

山下 もうやめよ！

サツキ え……? ?

山下 ごめんな、貫太くん。宗教なんて嘘だから。ごめん。

サツキ ちよっと／＼何いってんの

山下 裕子ちゃんもごめん。ホントに変な宗教とかじゃないから、ご心配おかけして、すみませんでした。

裕子 じゃあ、この仮面は？

山下 僕が、その倉庫にあったやつを勝手に

裕子 え！ じゃあ役場の誰かが／＼坂道教団の一員だということ！？

山下 そうかもしれないけど。サツキちゃんじゃないから。

裕子 ……でも意味わかんないですよ。なんでこんなこと

山下 貫太くんが帰ってくるの、反対なんだって

貫太 え……

山下 ほら、せっかく早慶大まで出てんのにさ。田舎で苦勞するより、東京でどーんと、すごい仕事してて欲しいんだって！

裕子 町おこしだって、すごい仕事ですよ！

山下 俺もそう思うけど。サツキちゃんは、そうは思わないんだって。ね。

サツキ ……

山下 というわけなんで、お騒がせして本当にすいませんでした。えーと、ホントは貫太くんの面接があるんだもんね。ホント、申し訳ない。(サツキを促し退出しようとする) じゃ、貫太くんまた夜にでも

貫太 ……姉ちゃん

サツキ ……

貫太 なんだか知らないけどさ、俺なんか悲しいよ。すげえ悲しいよ

サツキ ……

貫太 せっかく帰ってこようと思ってるのに……そりゃ、姉ちゃんが反対なのは知ってたけどさ、だからってこんなやりかたで／＼追い返そうとするなんて。

山下 ま、ま、俺からも話して／＼おくから。

貫太 東京に行ったって、この町はずっと自分の居場所だって信じてたのに。よりによって姉ちゃんからこんな扱い／＼受けるなんて

山下 そうだね、その話はまた後でね。(サツキに) 行こ？

サツキ ……なに言ってるのよ

貫太 ？

サツキ あんたのためでしょ？ なに夢見てんだか知らないけど、あんたの人生を台無しにしないために／＼やってやってんのに

貫太 夢見てるってなんだよ

サツキ だってそうじゃない！ こんな未来のない町に帰ってきたら、あんたの将来、無茶苦茶にされんのよ！？

裕子 ちよっとサツキさんそれは／＼言い過ぎです

サツキ だってそうじゃん！ この町が立ち直ることなんて絶対に無いのに、町おこしだなんだっ

て馬鹿みたいに！ 勝ち目のないギャンブルに、うちの貫太を巻き込まないでよ

裕子 勝ち目はありますよ！ 貫太さんと、みんなで頑張れば！

サツキ 無理！ 前にも何人かいたよね、町おこししますとか言ってきたひと。なんか変わった？

裕子 あの人たちは、そりゃ上手くいかなかったですけど

サツキ それがすべてじゃない！ バカみたいなアイデアだけ持ってきて

山下 でも誰かが何かやってみないとさ

サツキ あんたが言うな！ 農業体験もさせないくせに！

山下 それは……

サツキ 自分がやりたくもないことを、なんで寛太に押し付けるの！？

裕子 でも、本人が！ 貫太さんがやりたいって言ってくれてるんだから！ ねえ！？

貫太 え、あ。はい。一応。

サツキ 無理よ。やめなさい。

裕子 わかりました！ じゃあもう、貫太さん！ その、町おこしプラン、教えてください！

貫太 え、今？

裕子 はい。どうせ面接では聞くはずだったんだし、面接官が、3人になったと思って。

山下 え、俺も？

裕子 この際ですから。(サツキに) これで、納得できるプランだったら、文句ないですよね？

サツキ ……そりゃ、できるんだったらその方がいいけど

貫太 じゃあ……

サツキ、裕子、山下、貫太が何を言い出すのか注目する

貫太 えーと。まず、観光ですが、町内に観光地はありません

サツキ ……

貫太 新しく作ったとしても、宣伝するお金がありません。そこで、観光客がCtOCで勝手に宣伝してくれるSNSを狙います。バイラルに広まるようSNS映えを第一に考えた／観光スポットをつくります

山下 ちよつとタイム！

裕子 なんですか

山下 (小声で) これ、前のやつも似たようなことやってなかった？

サツキ ほら

裕子 いいんです！ 方向性は合ってたんですよ！

山下 失礼しました。どうぞ。

貫太 次に、移住者募集についてなんですけど、移住後の就労イメージが持てないことがネックになってると考えます。そこで、農業や林業の様子をTikTokで発信して、ちよつとタイム！

裕子 もう

山下 前に来たやつと一緒にじゃん！

裕子 そうですけど！

サツキ ほら

山下 おれもう踊るの嫌だよ？

裕子 あーもう（貫太に）はい！ 質問です！

貫太 なんでしょうか

裕子 えっと、その辺のことは、実はすでに取り組んだことがありますよ……

サツキ ホームページに載ってるよー

裕子 ですから、あれですよ？ 大学とか、ソフ天バンクで学んだ、すごい秘策があるってことですよ？ 成功の秘訣的な

貫太 え……？

山下 そうか。そうだよな。早慶大学だもんな

貫太 それは……特になんですけど

サツキ ほら

裕子 えー！？ でもほら、ソフ天バンクでしょ？ 当たり前前やってたことが、ここでは誰も知らないすごいことかもしれないし

山下 そうだよ！ ソフ天ではどんな仕事してたの？

貫太 どんなって……LPのブラシューアップと、あとひたすら電話かけて、話聞いてもらって……

山下 あー……うちにもたまにかかってくる奴だ。通販しませんか的な

貫太 そうですよ。たぶん。

山下 高いんだよなアレ

貫太 （反射的に営業トークが出てきてしまう）あーでもちゃんと取り組めば、売上が10倍になったり、海外からの問い合わせがあったり、リターンを考えれば……投資としては……？

山下 ？

貫太 投資としては……（黙ってしまう）

サツキ ……あんたまさか、逃げて来たの？

裕子 えっ？

サツキ アレでしょ。 あんたその営業の仕事が嫌になったんでしょ。

貫太 ……

サツキ え、ホントにそうなの？ うわ最悪。なにそれ。信じらんない。

山下 サツキちゃんその言い方はさすがに（よくないよ）

サツキ それで逃げ帰ってきて？ ついでに小難しいこと言ってるや仕事にもありつけるって？ 私たちも舐められたもんね！

貫太 違うよ！

サツキ 違うじゃないでしょ！ なんなのさっきの適当なプランは。町おこしって簡単なことじゃないの！ そうでしょ？

裕子 そうですけど

貫太 でもでも別に舐めてる訳じゃなくて

サツキ じゃあなんなのよ

貫太 帰ってきたかったんだよ！ いいだろそれで！
サツキ はあ？

貫太 だって、ソフ天っていうか、もう東京が無理だったんだよ！ だから帰ってこようと思
ったら、たまたま、移住者募集してるの見つけて、

サツキ なによ無理って！ 頑張りなさいよ

貫太 合わなかったもんはしょうがないだろ

サツキ 合わなかった！？

山下 そうだよ、都会が合わない人だっているよ

裕子 ていうかむしろ、白内の方がいい！ って言ってくれる方が。ねえ？ 嬉しいよね？

サツキ 責任つてもんがあるでしょう！ いつか故郷に錦を飾るって、期待されて行ってるんだか
ら

貫太 そんなのみんなが勝手に期待してるだけじゃん

サツキ はあ？

貫太 だから、僕はそんな期待されるような／秀才じゃないから

サツキ だったら、だったらなんであんななのよ！ 私で良かったじゃん！ あんたが秀才だって
いうから！ 東京で頑張るっていうから、私ぜんぶ諦めたのに

貫太 そんなこと言われたって

サツキ パパもママも、先生も、町長さんまで！ みんな貫太は秀才だっていうから！ 貫太が出
世してみんなが幸せになるって言うから！ 私は大学も一人暮らしも諦めて、ママの看病
して、やりたくもない公務員やって、したくもない結婚して

山下 え？

サツキ そんなに都会が嫌いなら、あんたが残ればよかったじゃない！ じゃあ代わるよ。代わっ
てよ！ 私がソフ天で働くから！ 営業でもなんでも喜んでやるわよ！

貫太 ……

裕子 ……

山下 ……あの、「したくもない結婚」ってのは／どういうこと？

サツキ ごめん。正確には「したくもない農業」でした

裕子 ……大丈夫ですよ

サツキ 何が

裕子 貫太さんは大丈夫です！ 一緒に頑張れば、絶対にこの町はよくなります！

サツキ はあ？ やる気もプランもグダグダなのに？

裕子 大丈夫です！ 秀才じゃなくても、仕事ができなくても大丈夫！ 絶対大丈夫！

貫太 ……

裕子 サツキさんも大丈夫！ 絶対この町が好きになるし、いつか東京にだって住めます

サツキ あんた何を根拠に／言ってるの

裕子 根拠なんてないです！ 信じてるんです

サツキ ？

裕子 星が見えない町の話って知ってますか？

サツキ は？

裕子 その町は、いつも工場の煙が立ち込めていて、みんな星空を見たことが無いんです。

サツキ へー、景気が良くていいですねえ

裕子 だから、星空を見たいなんて言うと、みんなにバカにされるんです。そんなものあるわけないだろ、って。

サツキ 何が言いたいのよ

裕子 この町だって同じです。みんな希望を見たことないから、無いつて信じてるだけなんです。ただどうせ信じるなら、私は希望があるって方を信じます。信じれば必ず、奇跡は起こるんで！

サツキ それこそヤバイ宗教じゃん

裕子 宗教じゃないですよ。キングコングの西野さんが言ってたんです

サツキ やっぱり宗教じゃん

裕子 違います！

貫太 (裕子に) 僕、ホントに大丈夫ですか？

裕子 大丈夫です！ 契約しましょう！

サツキ ホントに誰でもいいのね

裕子 それもそうですけど、私は貫太さんを信じますから

貫太 あの、僕がもう、自分のことを信じられないんですけど、それはどうしたらいいですか

裕子 そこはもう、気合いと根性です

山下 そうなの！？

裕子 そうですね。だって、どうせ絶対わかんないじゃないですか。未来がどうなるかなんて。

山下 まあ、そうだけども……

裕子 じゃあ、貫太さんは白内盛り上げ隊隊員として、移住支援制度を利用するってことでいいですか？ (サツキに) いいですよね？

サツキ ……

裕子 いいことにします！ じゃ、手続きしますんで、こちらへ (出ていこうとする)

貫太 …… (うごかない)

裕子 往生際がわるいなあ！

貫太 ……姉ちゃん

サツキ ……なによ

貫太 ごめん。俺、姉ちゃんがそんなふうにしてたなんて、全然しらなかつたよ。俺のために、大学諦めてたなんてことも

サツキ そりゃそうですよ。言ってるもん。普通はね、あんたみたいに簡単に泣き言言わないの。……絶対、言わないって決めてたの

貫太 出来ないかもしれないけど

サツキ じゃあ言わなくていい

貫太 ……

貫太、消沈。裕子の後を追って出ていこうとするが、意を決して振り返り

貫太 俺、頑張るから！ ……姉ちゃんが諦めてくれたこと、これから取り戻せるように
サツキ ……いいよ。もう遅いから

貫太、出ていく

山下 農業体験、どうしようかねえ

サツキ は？

山下 いや、なんか、頑張ってみてもいいかなって

サツキ あんたまで星が見えない町に感化されたの？

山下 そういふ訳じゃないけど。だって星はあるけど、希望はないじゃん。ないっていうか、こ
う……モノとしては。

サツキ そう。あるのはこのショボい町と現実だけ

山下 そうなただけだね。このショボい町を、信じてみるしかないのかなって

サツキ ？

山下 いやさ、子供にさ、ここには夢も希望もないんだよーって教えるのも、なんか違うじゃん。

サツキ ……

山下 (シャーマンの仮面に) よくこんなもんありがたがるよね

山下、シャーマンの仮面をつけ、踊りながら謎言語の呪文を唱える

山下 さあ、祈るのです！

サツキ ……貫太が幸せになりますように

山下 もっと他にないの？

サツキ この子が幸せになりますように、この子が幸せになりますように

山下 おお、それぞれ！

祈りが続いている。「弟のため」が全てだと思ひ込んでいたことに気づき始めるサツキ

サツキ 私が幸せになれますように！

おしまい